

## 第12回火山噴火予知連絡会議事録

日 時 : 昭和53年2月9日(木)13時30分~17時20分

場 所 : 気象庁第1会議室

出席者 : 永田、横山、高木、下鶴、行武、久保寺、加茂、太田(九大)高橋(科技厅)、伊藤(国土庁)、飯田(文部省)、佐藤、茂木、高橋(博)、末広(気象庁)、渡辺、杉浦、諏訪

臨時委員 : 長谷川(東北大)、清野(札幌管区気象台)、灰野(室蘭地方気象台) 佐々木(福島地方気象台)、河村(地磁気観測所)、中村(鹿児島地方気象台)

オブザーバー : 平畑(文部省)、武田(国土地理院)、熊谷(国立防災科学技術センター)

庶務 : 野島、大野、吉留、斉藤、小宮

[議事に先だち、永田会長から臨時委員の紹介があった。]

1. 第11回連絡会議事録(案)は一部字句を削除し承認された。

2. 最近の火山活動

### 2.1 有珠山

横山委員 : 震源分布、湖岸側の水準測量、北外輪と湖岸との光波測量、傾斜観測、北外輪と湖岸の光波測量と地震・傾斜との関連、高度角測定による火口原の地殻変動、空中赤外映像、重力精密測定について

長谷川臨時委員 : 地震放出エネルギー、地震観測結果について

佐藤委員 : 有珠山の上下変動、水平変動、航空測量成果について(航空測量成果は武田研究員説明)

清野臨時委員 : 地震回数、有感回数、地震放出エネルギーについて

諏訪委員 : 有珠山の航空温度測定及び光波測量について

河村臨時委員 : 地磁気観測結果について

統一見解をまとめるに当り横山委員から2月3日有珠山の活動に変化が認められたので札幌管区気象台と協議し臨時火山情報が発表された経過の説明があり、その活動の変化は現在も変っていないことが強調された。

### 有珠山の火山活動についての統一見解

「有珠山では昨年1月16日及び本年1月13日に小規模な水蒸気爆発が発生するなど昨年9月から10月にかけての時期と比較して表面活動にやや変化を示したが、地震のエネルギー放出率、

火口原内の隆起率ともやや減少してきていた。しかし、1月下旬以降、有感を含む地震回数、地震エネルギー放出率及び火口原内の隆起率はやや増加の傾向を示しており、また火口原では噴気地帯がやや拡大するなど地下のマグマの動きは活発化している兆候がある。

地殻変動及び地震の震源分布から火山活動の中心は現在も外輪山の内側にあり、今後も小規模な噴火などの表面活動は発生する可能性がある。有珠山総合観測班は地下のマグマの動き、表面現象の変化などを引き続き監視する。」

## 2.2 桜 島

加 茂 委 員：地震観測、水準測量成果について

中村臨時委員：地震観測、遠望観測結果等について

河村臨時委員：地磁気観測結果について

桜島の火山活動についての統一見解

「桜島南岳は依然活動を継続し、爆発に伴う空振、噴石等により山麓で若干の被害が発生している。これは溶岩等の火山物質が火道を通り容易に火口外へ放出されやすくなっているためこのような活動は今後も繰り返されると考えられる。

現在も、まだ大規模な活動に移行する兆候は認められないが、当分は火口に近い山麓部では山頂爆発による噴石落下の危険も起こり得るので注意を要する。」

## 2.3 阿 蘇 山

久 保 寺 委 員：集中観測結果について（地震、水準測量、辺長測量、重力、空中赤外映像）

河村臨時委員：           "           （地磁気）

太田委員代理：           "           （火山ガス、温泉観測）

気象庁（野島）：活動状況について

## 2.4 吾 妻 山

佐々木臨時委員：活動状況報告

高 木 委 員：臨時地震観測結果について

## 2.5 硫 黄 島

高橋（博）委員：ミリオンダラーホール付近の断層変化と地震観測について

## 2.6 南硫黄島周辺の海底火山

茂 木 委 員：福神海山、福徳岡の場、南日吉海山の変色水について

## 2.7 雲 仙 岳

太田委員代理：地震観測結果等について

## 2.8 草津白根山

河村臨時委員：地磁気観測結果について

下 鶴 委 員：浅間山、草津白根山集中観測結果について

## 2.9 伊豆大島

下 鶴 委 員：群発地震震源分布、火口温度、光波測量について

行 武 委 員：三原山火口の電気抵抗と全磁力の時間的变化

#### 2.1 0 霧 島 山

下 鶴 委 員：地震観測結果

#### 2.1 1 浅 間 山

下 鶴 委 員：地震観測結果

永田会長記者会見の間、硫黄島以下浅間山までについては、下鶴委員が会長代行として議事を進めた。

- 3. 総合観測班について
- 4. 噴火規模について
- 5. 協議事項

} 次回で検討

##### 1) 本連絡会の運営について

永田会長より委員旅費支給について、再度、気象庁に要望があった。

##### 2) 次回連絡会開催期日

5月の火山学会、地震学会の日程の決定をまち、その前後の日を追ってきめる。

[ 16:30-17:00 記者会見 気象庁記者室 ]